CD 03 193〜194

# 風物【ふうぶつ】−4

## 魚

**魚の文様となると先ず「鯉」があげられます。文様に限らず、日本画の題材にもなるさまざまな謂われがあり、親しみももたれました。登龍門（鯉が滝を登りきると龍になる）とか五月節句の鯉のぼりがそれです。金魚はその美しい色と模様が文様の題材にふさわしいのですが、新しい種のせいか伝統文様には案外数が少ないのです。**

**1 扇の金魚文**　CD 03_193
現代イラスト風の処理でゆったりと泳ぐ金魚の表情がでています。

**2 大型紋の鯉文**　CD 03_194
型絵染の鯉です。よく見られる写実風の鯉を、刀（とう）の切れ味で簡略化したような造形が見事です。